

老マタギと少年は、雄大な自然の中 冬山奥深く宿敵の巨熊を追った！



じつちや この山にバゲモノ熊がえるんか
なして じつちや一人で行ぐんか？
おらもじつちやと行がしてけれ！

山はこえーぞ 太郎…
わしはアイツをやるんじや
やるかやられるか 今度が最後だべ



- 文部省選定
- 日本PTA全国協議会推選
- 優秀映画鑑賞会推選
- 日本映画ヘンクラブ推選

マタギ

西村 晃
安保 吉人
山田 吾一
林 優枝
伊沢 一郎
稲葉 義男
横山 あきお
伊藤 敏孝
金親 保雄
寄山 弘
佐竹 明夫
桑山 正一
藤田 美保子
星 美智子
斉藤 京子
友川 かずき
矢口 高雄
特別出演
伴 淳三郎

後藤俊夫・監督作品

制作・小島義史 / 脚本・大和屋竺 / 音楽・羽田健太郎 / 撮影・山崎堯也 / 企画・製作・青銅プロダクション

MATAGI OLD BEAR HUNTER

映画「マタギ」は、
自然のすばらしさと厳しさを、
そして、その中で生きてゆく
人間の姿を少年の目を通して、
こんなにも感動的に
描いてみせた！



マタギ

MATAGI
OLD BEAR HUNTER

《かいせつ》

緑に包まれた山々、そして小川のせせらぎ、厳しい真冬の自然のすばらしさと恐ろしさと共に、美しい秋田の四季が大画面に広がってゆく。

大自然の中でくりひろげられる、少年と小犬との愛情。宿敵である幻の巨熊を追い続ける老マタギの執念——少年は、老マタギと共に、厳寒の冬山に最後の冒険に出た。美しい自然を織り込んだ2年間の現地ロケ、本物の巨熊を使つての決死の撮影、1億8千万円の製作費をつぎこんで、ダイナミックでドラマチックな感動作が、ここに誕生した。

主演は、渋い、個性的な演技力で知られる性格俳優の西村晃と秋田市城東中の安保吉人君。父親に山田吾一、姉に林優枝、獵の仲間に稲葉義男、伊沢一郎他、学校の先生に桑山正一、女獣医に「鳩子の海」の藤田美保子。ほかにニューミュージックの旗手友川かずき、「釣りキチ三平」劇画家矢口高雄らがゲスト出演。又この作品が最後となった伴淳三郎が特別出演している。音楽は、新進羽田健太郎が、自然を美しく感動的に謳いあげている。(1時間43分)

《ものがたり》

秋田県のマタギの里、根子村に住む平蔵翁は、古いしきたりを守り続けるただ一人のマタギだ。翁の類にはザックリ割れた傷跡が刻まれている。その傷は、数年前に、立ち上がると三メートルもある巨熊に襲われた時のものだ。だが村人たちは、誰れ一人としてその話を信じなかった。そんなドデカイ熊を見たという話は、いままでも一度もないからだ。——アイツは、わしができる——。村人たちの笑いをあとに、今年も翁は、厳しい冬山に一人入り始めた。平蔵の孫の太郎は、旧式の銃に、たった三発の弾丸しかもたずに山立ちする、そんな

な翁の強さに怖しさと頼もしさを感じていた。

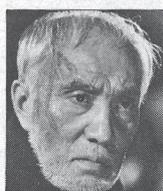
ある雪の日、マタギ犬シロに仔犬が生まれた。太郎は一番ひ弱な落ちこぼれ犬のチビを育てることにした。

連日の厳しい特訓と、太郎の愛情で、チビは逞しいマタギ犬に成長した。

その頃、町に熊の被害が開始した。傷を調べる翁の目が光った、アイツだ！

巨熊を追って翁いと太郎とチビは、雪深い山中に入った。荒れ狂う吹雪を乗り越えて、二人はついに宿敵の巨熊をみつけたのだ……。

*二度とない出会い



主演／西村晃

見渡す限り白一色。50日の冬ロケで出会った自然との闘いは、青春を想い起こさせ、ふり立つた。そして情念をぬりかえた。

この映画を創っていくスタッフの心に、監督の詩情に共鳴しながら、私は雪の中で汗した。

滅びゆく孤高の狩猟民マタギの生きてきた実感を、私はそのまま孫に伝えてやろうと思っている。



主演／安保吉人

とても寒くてつらかった冬山ロケ。スタッフの人たちとの撮影の合間の楽しかった遊び。数えきれないほどの初めての体験。一つのこと、みんなが力を出してやってゆくことを知って、映画に出演する前より、大人になったみたいなきががします。

撮影が進むにつれてだんだん自分が太郎の気持ちになっちゃって、じっちゃがしとめた熊をみんなに、自慢したくなってしまいました。

人間が失いかけている自然へのあこがれと恐れそして、少年が大人へとしだいに力強く成長していく姿を心から教えてくれる……。



後藤俊夫監督追悼上映会

伊那市創造館 3階講堂

〒396-0025 伊那市荒井3520番地
TEL : 0265-72-6220
E-Mail : szk@inacity.jp

伊那市出身の映画監督、後藤俊夫さんが、昨年11月22日に逝去されました。今回、伊那市創造館では、後藤監督の代表作であり、マタギとしての誇りや、命・自然への敬意、孫や犬への深い情愛の物語を描いた作品「マタギ」を上映し、監督の想いと業績をしのびたいと思います。

令和8年3月7日 (土) 午後1時30分～
(上映時間は103分です)
当日先着100人・入場無料・申込不要